

学校健康教育部会

平成28年4月に第3次食育推進計画が示され、子供から高齢者までの生涯を通じた食育への取組に多様な関係者が連携・協働して進めていくことが求められています。

学校における食育を推進するために、学校健康教育部会では定期的に研修会を企画して資質の向上を図り、部会員の交流の場を持つようにしています。

部会には小・中学校、特別支援学校の栄養教諭・学校栄養職員や、各種教育機関および教育行政機関、フードサービス企業等に勤務する方が所属しています。



学校給食摂取基準の活用に関する研修会

—平成28年10月1日（土） 会場：中能登町立中能登中学校—
「学校給食における栄養管理の在り方と食に関する指導」と題して、元文部科学省学校給食調査官・東京家政学院大学客員教授 田中延子先生をお迎えしました。

学校給食の栄養管理をおこなう際の児童生徒のアセスメント→栄養計画→献立作成・提供→体格・残食量・嗜好・満足度の評価を経て改善を図るPDCAサイクルについて、実際に推定エネルギー必要量やたんぱく質、脂質の給与量計算の演習を行いました。また、具体的な事例を示していただき、科学的根拠は必要ではあるが、数値にとらわれすぎないようにするという点について、考え学ぶ機会となりました。

